

創立60周年記念

全国建設業労働災害 防止大会in東京

2024年10月3^(木)日・4^(金)日

現地開催とオンデマンド配信を組み合わせた

ハイブリッド開催

大会スローガン

仲間の声で危険を防ごう、未来へつなぐ職場の安全

創立60周年記念部会を開催します



総合集会 10月3日(木) **東京ビッグサイト** 開場10:30/開会13:15

専門部会 10月4日(金) **東京国際フォーラム** 開場 8:45/開会 9:00

参加費 1名 10,000円(税込)

主 催 : 建設業労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会東京支部
開催主協力支部 : 建設業労働災害防止協会茨城県支部、栃木県支部、群馬県支部、埼玉県支部、千葉県支部、神奈川支部、新潟県支部、山梨県支部、長野県支部
後 援 : 厚生労働省、国土交通省、東京都、東京労働局
協 賛 : 一般社団法人全国建設業協会、中央労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会
協 力 : 一般社団法人日本建設業連合会、一般社団法人建設産業専門団体連合会

同時開催・入場無料

安全衛生保護具・
測定機器・安全標識等

展示会



1日目 10月3日(木)10:30~17:00
東京ビッグサイト東8ホール
2日目 10月4日(金) 8:30~15:30
東京国際フォーラム
ガラス棟地下1階
ロビーギャラリー



ゼロGハーネス

GOOD DESIGN AWARD 2023

動きやすく快適な作業を可能にした
フラッグシップモデル

- ▶ 屈伸運動時などにツッパリを感じない新設計の腰部可動金具を採用。
- ▶ ベルトの緩みを軽減する固定機能付ベルト通しと余長止め具を採用。
- ▶ 腿ベルトV型と水平型の2タイプ、3つのグレードをラインナップ。

TH-520V-OT-HG



TSUYORON

※ランヤード、胴ベルト等は別売になります。



KITE HARNESS

カイトハーネス

腰回りのフリースペースが多く
汎用性に優れたモデル

- ▶ 腰部から腿部に繋がるベルトを左右2本にし、腰回りに道具装着スペースが広く取れる新構造。
- ▶ 付属のアタッチメントで胴ベルトを3点支持。多くの腰道具を装着した際でも胴ベルトのズレを抑制（胴ベルトは別売）。

TH-521-OT

Safety is Love  **FUJII-DENKO** <https://www.fujii-denko.co.jp>

本社 〒679-0295 兵庫県加東市上滝野 1573-2 TEL.0795-48-3851 (営業部)

発電機からの排気ガスによる CO 中毒対策にも！

お気軽にお問合せください！



1. 小型 2. 軽量 3. 高機能センサ

**備えて安全、
身に着けて安心。**



装著形 O₂ 検知器
Model: GW-3 Series



装著形 CO 検知器
Model: 04 Series



装著形 4 成分ガス検知器
Model: GX-3R Pro



携帯形 4 成分ガス検知器
Model: GX-Force

 **理研計器株式会社**

<https://www.rikenkeiki.co.jp/>

本社 〒174-8744 東京都板橋区小豆沢 2-7-6 TEL 0570-001939 (代)

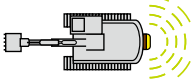
作業員に重機への接近を音声で警告して接触事故を防ぐ

セフティアラート NEW



398-05
サイズ: W200×D82×H120mm
材 質: ABS樹脂

- 人感センサーで重機への接近を大音量の音声などでお知らせ (最大 90db 以上)
- 音声は 2 種類を録音・再生できます。
- 乾電池で駆動するので面倒な配線は不要です。
- 背面の強力マグネットで簡単に取付けできます。
- JIS 保護等級の IP55 相当に準拠した防水・防じん性能を有しています。(当社社内試験による測定)



作業員の接近を
センサーで感知して
音声で警告





カタログのご請求・最寄りの代理店については、下記フリーダイヤルにてお問い合わせ下さい。

安全と快適環境をトータルでコーディネートする

 **UNIT ユニット株式会社**

● 営業部 / 〒173-0004 東京都板橋区板橋 2-3-20
TEL ☎0120-490336 FAX ☎0120-490173
E-mail でも承ります。 sien@unit-signs.co.jp

ISO 9001 仙崎工場認証取得 ● 営業所 / 第2: 城北・城南・城東・札幌・仙台・郡山・北陸・群馬・茨城・埼玉・千葉・西東京・横浜・平塚・静岡・京都・大阪北・大阪南・神戸・広島・福岡

**石綿対策を
トータルサポート！**

「石綿処理機材
マニュアル」
をご用意しています。

集じん・排気装置 AT-2000 Pro



アルミ製ボディで
より軽量に！

溶接仕上げによる改良モデル！

本体重量
約 57kg

※フィルタは別売りです



デュポン® タイベック®
ソフトウェア III 型

JIS T 8115 : 2015
タイプ 5 適合
浮遊固体粉じん
防護用密閉服

アゼアス株式会社 <https://www.azearth.co.jp>

本社 〒111-8623 東京都台東区蔵前 4-13-7
TEL. 03-3861-3537 / FAX. 03-3861-2485

デュポン®、タイベック® は米国デュポン社の関連会社の商標又は登録商標です。

創立60周年記念全国建設業労働災害防止大会（東京大会）のご案内

本年度の創立60周年記念全国建設業労働災害防止大会は、東京にて開催いたします。

大会初日の10月3日（木）は「東京ビッグサイト」において、建設業における安全衛生活動に顕著な功労・功績のあった方々や優秀な安全衛生成績をあげられた事業場等に対する表彰、労働災害防止のために優秀な発明・考案等をされた方を対象とした顕彰、安全の誓いの採択、特別講演等を行う「総合集会」を開催します。

2日目の10月4日（金）は「東京国際フォーラム」において、会員企業等による安全衛生等に関する研究発表を行うとともに行政担当官より労働災害防止対策、通達、方針等の情報を提供する「専門部会」を開催します。本年は建築部会、土木部会、安全衛生教育部会、低層住宅部会、コスモス部会のほか、建設業が現在直面している課題（2024年問題、人手不足等）に特化した、創立60周年記念部会を新たに開催します。

また、本大会と併せて、最新の安全衛生保護具・測定機器・安全標識等を多数とりそろえた「安全衛生保護具等展示会」を両日、開催します。

開催日時・開催会場

プログラム	開催日時	会場
総合集会	10/3(木) 13:15～	東京ビッグサイト（東展示棟 東7ホール）
建築部会	10/4(金) 9:00～	東京国際フォーラム（ホールB7（1））
土木部会	10/4(金) 9:00～	東京国際フォーラム（ホールB5（2））
安全衛生教育部会	10/4(金) 9:00～	東京国際フォーラム（ホールB7（2））
低層住宅部会	10/4(金) 9:00～	東京国際フォーラム（ホールB5（1））
創立60周年記念部会	10/4(金) 9:00～	東京国際フォーラム（ホールC）
コスモス部会	10/4(金) 9:00～	東京国際フォーラム（G409）
安全衛生保護具等展示会	10/3(木) 10:30～	東京ビッグサイト（東展示棟 東8ホール）
	10/4(金) 8:30～	東京国際フォーラム（ガラス棟B1F ロビーギャラリー）

参加者の皆様へ

○受付について

当日の受付（両日）については「会場での受付方法のご案内（19頁）」をご確認ください。

初日に受付を済まされた方も2日目の専門部会にご参加される際には必ず受付をお済ませのうえ、ご入場ください。

○安全衛生関係情報の提供

皆様へご紹介したい資料・リーフレット等を無料で配布するコーナーを会場内に設けますので、ぜひ情報収集にお役立てください。

○CPDS（継続学習制度）について

（一社）全国土木施工管理技士会連合会のCPDS（継続学習制度）のユニットが、本大会の専門部会（2日目）を聴講することにより、最大4ユニット取得できます。専門部会会場で「受講証明書」を配布いたします。ユニットの申請は、各自で（一社）全国土木施工管理技士会連合会へ申請してください。

（一社）全国土木施工管理技士会連合会ホームページ：<https://www.ejcm.or.jp>

○昼食について

初日、2日目ともに会場内での飲食は可能です。※2日目の一部会場では飲食はできません。

会場のご案内

初日

①東京ビッグサイト

東7・8ホール

ゆりかもめ 東京ビッグサイト駅より徒歩約12分
りんかい線 国際展示場駅より徒歩約16分
東京都江東区有明3丁目11番1号

●総合集会 ●安全衛生保護具・測定機器・安全標識等展示会

2日目

②東京国際フォーラム

JR有楽町駅より徒歩約1分
JR東京駅より徒歩約5分
東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

●専門部会 建築部会・土木部会・安全衛生教育部会・低層住宅部会・
コスモス部会・創立60周年記念部会

③東京交通会館

(予定)

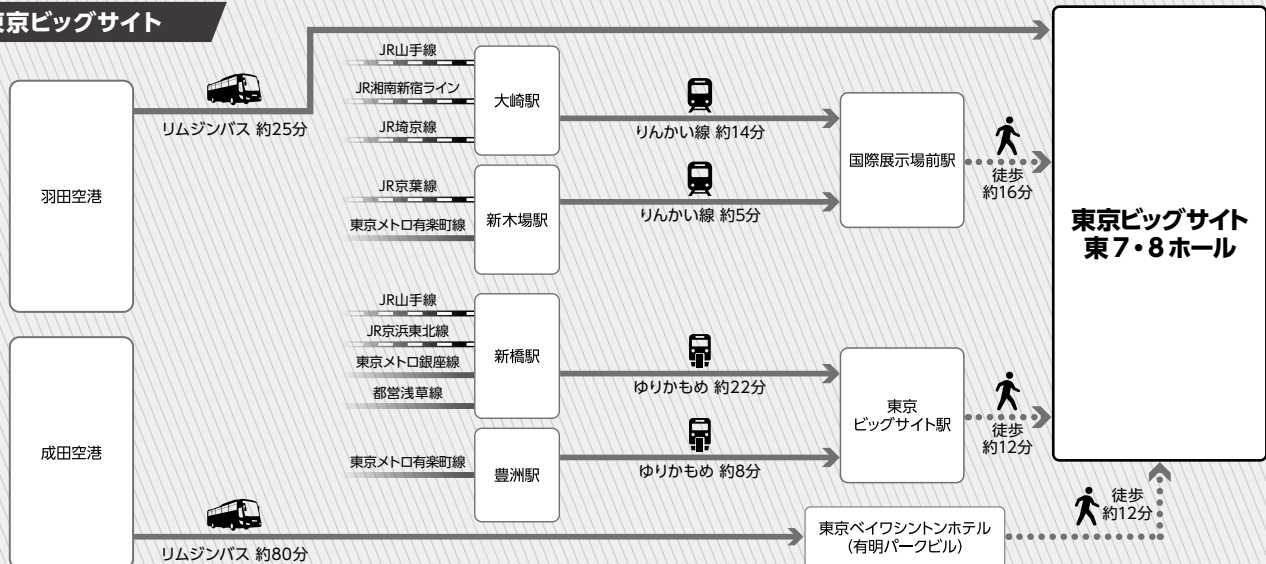
東京国際フォーラムより徒歩約3分
東京都千代田区有楽町2丁目10番1号

●コスモスレベルアップミーティング
(認定企業)

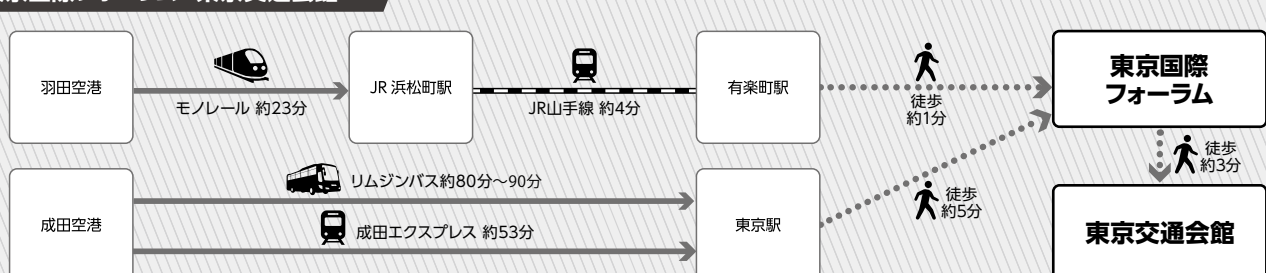


東京ビッグサイトの周辺道路及び駐車場は混雑が見込まれます。
ご来場の際は、公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。

東京ビッグサイト



東京国際フォーラム・東京交通会館



総合集会プログラム

初日 10月3日(木) 東京ビッグサイト 東展示棟 東7ホール

10:30	開 場	
13:15	開 会	
	黙 祷	
	挨 拶	建設業労働災害防止協会 会長
	来 賓 挨 拶	厚生労働大臣 国土交通大臣 東京都知事
	歓迎の言葉	大会実行委員長 建設業労働災害防止協会 東京支部長
13:50	安全衛生功労者に対する表彰・顕彰基金による顕彰	
14:10	安全の誓い	大会副実行委員長
14:15	講 演	「労働安全衛生行政の動向について」(仮題) 厚生労働省 労働基準局
14:35	アトラクション	和太鼓音楽集団 「東京打撃団」
15:00	休 憩	
15:20	特 別 講 演	「ワーク・エンゲイジメントを高めるための脳のつくりかた —不安全な判断や行動をしないためにも— 脳科学者 茂木 健一郎
16:30	閉 会	

※プログラムは一部変更になる場合があります。

オンデマンド配信

今までは見る事ができなかった同じ時間帯の研究発表を何時でも何度でもご視聴いただけます。

配信内容:総合集会プログラム・専門部会プログラム

配信期間:10月7日(月)~11月11日(月)

- オンデマンド配信を視聴するには、「ユーザー名」、「パスワード」が必要です。
- オンデマンド配信の視聴のみご希望の方は、お手数ですが、参加券ご購入後、建災防本部ホームページよりオンライン参加の申込み手続きをお願いします(20頁参照)。
- 現地にご参加の方は、全国大会当日お渡しする資料にて「ユーザー名」、「パスワード」をご案内しますので、オンライン参加の申込みは不要です。
- オンライン視聴できない現地開催のみのプログラムがあります。
- 専門部会に参加された方は、継続学習制度(CPDS)のユニットを取得できますが、オンライン参加ではCPDSのユニットは付与されません。

特別講演 講演者紹介



ワーク・エンゲイジメントを高めるための脳のつくりかた
— 不安な判断や行動をしないためにも —

脳科学者 もぎけんいちろう 茂木 健一郎 氏

東京大学大学院客員教授、企業内研究所の研究者、屋久島おおぞら高校校長などを務める。

東京大学理学部、法学部卒業後、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻課程修了。理学博士。

理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て現在に至る。専門は脳科学、認知科学。

「クオリア」（感覚の持つ質感）をキーワードとして脳と心の関係を研究するとともに、文藝評論、美術評論などにも取り組みながら、作家、ブロードキャスターとしても活躍の幅を広げている。

人間の脳にしかできない判断やその磨き方などについてご講演いただきます。

アトラクション紹介

和太鼓音楽集団「東京打撃団」

高い演奏技術に裏打ちされた音楽性と力強く楽しい舞台を目指して東京を拠点に活動を展開。劇場公演を中心にイベントや東宝映画『のぼうの城』等への出演参加、舞台への楽曲提供や太鼓指導の他EXILE全国ツアーへ演奏参加するなど国内外で幅広く活動中。形式や慣習にとらわれず、新しい感性により「懐かしくて、新しい太鼓の世界」を表現。（東京打撃団ホームページ <http://dagekidan.com>）



写真 © 藤田真郷



写真 © 藤田真郷



写真 © 藤田真郷

安全衛生保護具 測定機器・安全標識等

展示会

2024年

10月3日(木) 東京ビッグサイト 東8ホール 10:30~17:00

10月4日(金) 東京国際フォーラム ガラス棟地下1階ロビーギャラリー 8:30~15:30

創立
60周年記念
全国建設業
労働災害防止大会
in 東京



出展企業	主な取扱品目
アサヒ産業(株)	<次世代>すすり先行システム足場&支保工「ミレニウム」、ポリエステル製硬質網材「マルチGRID」
アゼアス(株)	化学防護服、集じん・排気装置 等 ★
(株)アドバンス	経口補水液が作れるタブレット O.R.S ★
アトム(株)	耐創手袋、防振手袋、緩衝手袋 ★
(株)穴吹カレッジサービス	安全衛生点検など現場の管理・監督を支援するクラウドサービス「かん助」
(株)エレメント・プランニング	安全衛生小冊子、ポスター、シール、テキスト ★
大塚製薬(株)	ポカリスエット ★
オンヨネ(株)	腰痛対策ウェア「壮力(はらちから)ベスト」
(株)ガステック	検知管式気体測定器、各種ガス警報計 ★
(株)キッズウェイ	管理ダッシュボード「XrossView」、顔認証システム「FACEma」、騒音振動センサー「DECIBERY」 ★
キョーワ(株)	建設用仮設資材・黒探光防音シート・Cリング工法 他
(株)グリーンクロス	遠隔監視用ウェアラブルカメラ、バッテリー残量遠隔監視システム、現場用デジタルサイネージ、自動音声再生注意喚起装置、バイオマスターポリン製標識 ★
(株)建設安全研究会	安全教育用映像コンテンツ
興研(株)	防じんマスク、電動ファン付き呼吸用保護具、防毒マスク 他 ★
光明理化学工業(株)	携帯及びポータブル測定器、検知管及びガス採取器、各種エアサンプリングポンプ、気流検査器SG-1、SG-TL 他 ★
(株)小森安全機研究所	フォークリフト用AIカメラ 3Dレーダー安全システム
サンコー(株)	墜落制止用器具(フルハーネス型、胴ベルト型、関連器具)、墜落防止器具(セイフティブロック) ★
シェルフィー(株)	Greenfile.work、安全書類の電子化サービス ★
ジー・オー・ピー(株)	アルミ台車、アルミ製段差解消スロープ、移動式室内足場、軽量作業台 他
(株)重松製作所	防じん・防毒マスク、電動ファン付き呼吸用保護具、化学防護手袋・耐創手袋、保護めがね等 ★
(株)シモン	安全靴・プロテクティブスニーカー・ワークグローブ ★
新コスモス電機(株)	ガス検知器 ★
スリーエム ジャパン(株)	墜落防止用品(フルハーネス・ランヤード・アンカー類)・呼吸用保護具・保護めがね/ゴグル・防音保護具・化学防護服・自動遮光浴槽面など ★
セーフィー(株)	クラウド録画サービス ウェアラブルカメラSafe Pocket 2 Plus(セーフィーポケットプラス)、LTE搭載クラウド型防犯カメラSafe Go(セーフィーゴー) ★
(株)仙台銘板	デジタル朝礼台 安全掲示板、AIプロジェクトアーチ、AI後方警戒システム ★
大栄産業(株)	4点吊り敷鉄板水平吊り専用クランプ(特許取得済)、特許取得施工方法によるGT型光触媒「ナノバイオシールド」 ★

出展企業	主な取扱品目	
(株)谷沢製作所	保護帽、墜落制止用器具、ウェアラブル機器 等	★
(株)つくし工房	各種安全標識、吊り荷警報器、安全帯使用確認器具、事故体験安全教育用VR	★
(株)積木製作	安全体感VRTレーニング	★
鶴賀電機(株)	暑さ指数(WBGT)測定器、熱中症危険度表示パネル、熱中症警戒システム	
(株)東京BK足場	ポケット型「軽量クサビ足場」、超狭小地用天井走行型「ガーターリフト」	
(株)TOWA	高所作業安全用品	★
(株)日本コンサルタントグループ	協力会向け クラウド型 安全衛生動画学習システム、オリジナル安全衛生動画、eラーニングの製作	★
日本スピードショア(株)	土砂遮断装置「スピードガード」、水圧式スプリング内蔵四方張り土留「マンホール土留」など	★
長谷川工業(株)	アルミ製台車、可搬式作業台、脚立、はしご、その他アルミ製品全般	★
(株)ハタヤリミテッド	コードリール、照明機器、エアリール、ホースリール	★
(株)ピカ コーポレイション	アルミ合金製高所作業用品(足場、脚立、可搬式作業台、トラック昇降器具等)台車、親綱支柱等	★
藤井電工(株)	墜落制止用器具及び墜落防止器具	★
(株)プロップ	暑さ対策製品、墜落制止用器具、人体用エアバック	★
みぞた巧芸(株)	社旗、安全旗、腕章、タレ幕、ヨコ幕、標識、シート看板、胸章	★
ミドリ安全(株)	墜落制止用器具、安全靴、ユニフォーム、ヘルメット、安全DX関連、熱中症対策商品 など	★
明電システムソリューション(株)	明電の安全ソリューション 3軸VRシミュレータ	
(株)メルシー	フットケア機器(健康管理機器)	★
山本光学(株)	保護めがね・保護ゴーグル、電動ファン付き呼吸用保護具、遮光用保護具	★
ユニット(株)	安全標識・用品	★
(株)理研オプテック	保護めがね/ゴグル/遮光めがね/防災面	★
理研計器(株)	ポータブルガス検知器、酸素濃度計、高圧下用酸素濃度計、VOCモニターなど	★

出展団体	主な取扱品目
(一社)仮設工業会	足場等仮設機材の性能試験及びシステム足場の点検表等
(一社)全国建設業労災互助会	補償制度事業及び労働福祉事業
(一社)日本ガス協会	ガス管損傷事故防止チェックシート、ガス管照会窓口検索サイト周知チラシ

★両日、出展企業

専門部会プログラム

2日目 10月4日(金) 東京国際フォーラム・東京交通会館

	建築部会 東京国際フォーラム(ホール B7(1))	土木部会 東京国際フォーラム(ホール B5(2))	安全衛生教育部会 東京国際フォーラム(ホール B7(2))	低層住宅部会 東京国際フォーラム(ホール B5(1))	創立60周年記念部会 東京国際フォーラム(ホール C)	コスモス部会 東京国際フォーラム(G409)
8:45	開場 8:45	開場 8:45	開場 8:45	開場 8:45	開場 8:45	開場 8:45
9:00	開会挨拶 9:00～9:10 (10分)	開会挨拶 9:00～9:10 (10分)	開会挨拶 9:00～9:10 (10分)	開会挨拶 9:00～9:10 (10分)	開会挨拶 9:00～9:10 (10分)	開会挨拶 9:00～9:10 (10分)
9:05						
9:10	発表① 9:10～9:30 (20分)	発表① 9:10～9:30 (20分)	発表① 9:10～9:30 (20分)	発表① 9:10～9:30 (20分)	講演① 9:10～9:50 (40分)	発表① 9:10～9:30 (20分)
9:15	松井建設株式会社	清水建設株式会社 関西支店	建設防 山梨県支部 オレンジ隊	大和ハウス工業株式会社	株式会社BP 総合研究所	株式会社熊谷組
9:20	現場安全管理におけるICT活用	通年施工下、河川内橋脚基礎工事における安心・安全な施工管理	太陽のように明るい建設業を目指して!	VR体験による安全意識の向上	社会インフララボ 上席研究員	当社の安全衛生マネジメントシステム運用の課題
9:25					野中 賢氏	
9:30	発表② 9:30～9:50 (20分)	発表② 9:30～9:50 (20分)	発表② 9:30～9:50 (20分)	発表② 9:30～9:50 (20分)	2024年問題と労働災害防止	発表② 9:30～9:50 (20分)
9:35	朝日機材株式会社 本店	飛鳥建設株式会社	株式会社大林組 大阪本店	大阪住宅安全衛生協議会	取組みについて	五洋建設株式会社
9:40	BIMとAR/VRの活用、特殊形状建築物における足場の計画・構築・施工での省力化・省人化をはかる	水再生センターの水処理施設増設工事における安全対策	空港リノベーション工事における航空保安事故防止対策	快適・働きやすい現場環境の		持続可能なシステム運用に向けて
9:45						
9:50	発表③ 9:50～10:10 (20分)	発表③ 9:50～10:10 (20分)	発表③ 9:50～10:10 (20分)	発表③ 9:50～10:10 (20分)	発表① 9:50～10:10 (20分)	発表③ 9:50～10:10 (20分)
9:55	前田建設工業株式会社 東京建築支店	株式会社熊谷組 九州支店	博多装工株式会社	中野土建株式会社	株式会社竹中工務店 広島支店	東急建設株式会社
10:00	地下躯体工事の作業環境改善	ダム施工現場の重機災害防止に向けた安全の取り組み	技能工の社員登用・育成と多能工化による生産性の向上	高齢熟練職人さんの力を発揮できる環境、意識作り	大規模作業所における最新デジタル技術とアナログの融合による安全管理の進化への挑戦	化学物質リスクアセスメントの深化
10:05						
10:10	休憩 10:10～10:20 (10分)	休憩 10:10～10:20 (10分)	休憩 10:10～10:20 (10分)	休憩 10:10～10:20 (10分)	休憩 10:10～10:20 (10分)	休憩 10:10～10:20 (10分)
10:15						
10:20	発表④ 10:20～10:40 (20分)	発表④ 10:20～10:40 (20分)	発表④ 10:20～10:40 (20分)	発表④ 10:20～10:40 (20分)	発表② 10:20～10:40 (20分)	発表④ 10:20～10:40 (20分)
10:25	株式会社LIXIL	東洋建設株式会社 関東支店	中林建設株式会社	有限義興興業・大和ハウス工業株式会社	株式会社鹿島建設 関西支店	株式会社安藤・間 名古屋支店
10:30	無足場工法に対応した	第二海望における	次代へつなぐルールと歴史、階層別安全衛生教育の誕生	事業主、建設技能者のDXへのアプローチ	法定時間外労働時間削減に向けて	COHSMSガイドラインに準拠した安全衛生活動
10:35	ザッソの実現	ICT技術を使用した安全対策				
10:40	発表⑤ 10:40～11:00 (20分)	発表⑤ 10:40～11:00 (20分)	発表⑤ 10:40～11:00 (20分)	発表⑤ 10:40～11:00 (20分)	講演② 10:40～11:20 (40分)	発表⑤ 10:40～11:00 (20分)
10:45	株式会社竹中工務店 神戸支店	西松建設株式会社 九州支社	清水建設株式会社 千葉支店	株式会社藤藤政工業		オーク設備工業株式会社
10:50	複雑形状大屋根鉄骨工事における生産性向上と災害発生リスク低減への取り組み	山岳トンネル工事における切羽崩落災害防止対策	大空間アリーナ建設における安全対策について	株式会社日本コンサルタントグループ	代表取締役社長 竹延 幸雄氏	OSK-COHSMSのあゆみ
10:55				スマホで安全衛生教育		
11:00	発表⑥ 11:00～11:20 (20分)	発表⑥ 11:00～11:20 (20分)	発表⑥ 11:00～11:20 (20分)	発表⑥ 11:00～11:20 (20分)	低圧協 じゅうたく小町部会	発表⑥ 11:00～11:20 (20分)
11:05	清水建設株式会社 四国支店	大成建設株式会社 北信越支店	前田建設工業株式会社 東京建築支店	低圧協 じゅうたく小町部会	お客様目線で見える住宅系現場監督の働き方について	株式会社三浦工務店
11:10	若手社員に教えて伝える安全 PDCA	トンネル工事の安全性向上と労働環境改善を目指して	整理整頓の徹底による災害ゼロを目指す安全衛生管理			わが社の安全衛生の取り組み
11:15						
11:20	休憩 11:20～11:30 (10分)	休憩 11:20～11:30 (10分)	休憩 11:20～11:30 (10分)	休憩 11:20～11:30 (10分)	休憩 11:20～11:30 (10分)	休憩 11:20～11:30 (10分)
11:25						
11:30	発表⑦ 11:30～11:50 (20分)	発表⑦ 11:30～11:50 (20分)	発表⑦ 11:30～11:50 (20分)	発表⑦ 11:30～11:50 (20分)	発表③ 11:30～11:50 (20分)	発表⑦ 11:30～11:50 (20分)
11:35	株式会社大林組 九州支店	名工建設株式会社	東急建設株式会社 災害防止協力会	(一社)プレハブ建築協会	鉄建建設株式会社	戸田ビルパートナーズ株式会社 本社
11:40	大規模半導体生産工場における安全衛生管理の取組み	訓練で技術を磨き保線屋の使命を果たす	建設現場での転倒災害ゼロを目指して	プレハブ建築	急速な世代交代に対応するための効果的な人材育成戦略	コスモス導入による安全管理水準の向上と店社実施事項の明確化
11:45				マイスター制度について		閉会挨拶 11:50～11:55 (5分)
11:50	発表⑧ 11:50～12:10 (20分)	発表⑧ 11:50～12:10 (20分)	講話 11:50～12:10 (20分)	発表⑧ 11:50～12:10 (20分)	発表④ 11:50～12:10 (20分)	
11:55	株式会社奥村組 西日本支社	三井住友建設株式会社 大阪支店	厚生労働省	大和ハウス工業株式会社 本社	清水建設株式会社	
12:00	新幹線駅舎新築工事における施工計画	深山トンネル作業所の安全管理に思うこと	労働災害防止に向けた厚生労働省の取組について	能登半島地震の復興事業における安全対策	いつまでも元気に働くために	
12:05						
12:10						
12:20	(昼休) 12:10～13:00 (50分)	(昼休) 12:10～13:00 (50分)	(昼休) 12:10～13:00 (50分)	(昼休) 12:10～13:00 (50分)	(昼休) 12:10～13:00 (50分)	
12:30	DVD上映	DVD上映	DVD上映	DVD上映	DVD上映	
12:40						
12:50						
13:00	基調講演 13:00～14:00 (60分)					
13:10	日本航空機					
13:20	運航訓練部 価値創造室 室長 ボーイング767機長(兼)飛行訓練教官 石川 宗氏					
13:30	JAL機長の『Safety Management』の実践					
13:40						
13:50						
14:00	休憩 14:00～14:10 (10分)	休憩 14:00～14:10 (10分)	休憩 14:00～14:10 (10分)	休憩 14:00～14:10 (10分)	休憩 14:00～14:10 (10分)	
14:05						
14:10	発表⑨ 14:10～14:30 (20分)	講話 14:10～14:30 (20分)	発表⑧ 14:10～14:30 (20分)	発表⑨ 14:10～14:30 (20分)	発表⑤ 14:10～14:30 (20分)	コスモス レベルアップミーティング 東京交通会館(第一会議室 A)
14:15	西松建設株式会社	国土交通省	鹿島建設株式会社 関西支店	大和ハウス工業株式会社	戸田建設株式会社	
14:20	DXによる	建設業を取り巻く現状と国土交通省の施策の展望	現場の工夫と建設ICTの活用で合理化と安全管理を推進した事例	ICT活用によるSDS(セーフティデータシート)ならびにリスクマネジメントの業務負担軽減	心理学・教育学的アプローチによる安全管理システムのニューモデル	14:30～16:25 (115分)
14:25	スマート安全管理について					
14:30	発表⑩ 14:30～14:50 (20分)	発表⑩ 14:30～14:50 (20分)	発表⑨ 14:30～14:50 (20分)	発表⑩ 14:30～14:50 (20分)	発表⑥ 14:30～14:50 (20分)	
14:35	東急建設株式会社	株式会社大林組 東北支店	日本国土開発株式会社	株式会社BK足場	建設防 山梨県支部	
14:40	Risk Aversionまで深化させたRisk Assessmentの取組み	高速道路リニューアル工事における安全管理について	コクドオリジナル安全対策	足場先行工法に適したポケット型クサビ足場の進化	新ヒヤリハット報告の分析がもたらす新たな安全活動	
14:45						
14:50	発表⑪ 14:50～15:10 (20分)	発表⑪ 14:50～15:10 (20分)	発表⑩ 14:50～15:10 (20分)	発表⑪ 14:50～15:10 (20分)	講演③ 14:50～15:30 (40分)	(認定企業に限る)
14:55	戸田建設株式会社 東京支店	前田建設工業株式会社 中部支店	株式会社竹中工務店 東京本店	株式会社ダイサン	日本製鉄株式会社	①建設業における化学物質リスク管理マニュアルについて (14:35～15:00)
15:00	狭小敷地工事における安全・衛生への取組み	極狭小断面トンネルをNATM工法レーン方式で5km掘削、安全への足跡	ネットワーク配信型VR安全教育	建設現場の海外人材の活躍	安全防災推進部 部長 朱宮 徹氏	
15:05						
15:10	休憩 15:10～15:20 (10分)	休憩 15:10～15:20 (10分)	休憩 15:10～15:20 (10分)	休憩 15:10～15:20 (10分)		
15:15						
15:20	発表⑫ 15:20～15:40 (20分)	発表⑫ 15:20～15:40 (20分)	発表⑪ 15:20～15:40 (20分)	発表⑫ 15:20～15:40 (20分)	職場環境改善とコミュニケーション	②コスモス運用上の課題について (15:00～16:20)
15:25	清水建設株式会社 横浜支店	株式会社奥村組 西日本支社	大成建設株式会社 東京支店	低圧協 環境安全対策部会安全パトロール部会		
15:30	三現主義とデジタルのベストミックスの追求	鉄道高架工事(直上工法)の安全への取り組み方	外国人建設作業員の日本語教育	親綱使用における転倒時支柱挙動検証実験	休憩 15:30～15:40 (10分)	
15:35						
15:40	発表⑬ 15:40～16:00 (20分)	発表⑬ 15:40～16:00 (20分)	発表⑫ 15:40～16:00 (20分)	発表⑬ 15:40～16:00 (20分)	発表⑦ 15:40～16:00 (20分)	(グループ討議・意見交換)
15:45	鹿島建設株式会社 東京建築支店	鉄建建設株式会社 東京支店	東急建設株式会社	株式会社積水ハウス	戸田建設株式会社 東京支店	
15:50	世界貿易センタービルディング	ゼネコンの発想で考えた重機に着脱可能な360°3Dモニター	「新ヒヤリハット報告」の導入に向けて	疑似体験安全動画の活用による類似災害再発防止活動について	情報発信地「渋谷」から「人がつくる。人をつくる。」の取り組み	
15:55	鹿島フラッシュカット工法					
16:00	発表⑭ 16:00～16:20 (20分)	発表⑭ 16:00～16:20 (20分)	発表⑬ 16:00～16:20 (20分)	発表⑭ 16:00～16:20 (20分)	発表⑧ 16:00～16:20 (20分)	
16:05	株式会社竹中工務店 東京本店	大成建設株式会社 関西支店	戸田建設株式会社 東京支店	大和ハウス工業株式会社	清水建設株式会社 土木東京支店	
16:10	ICTを活用した施工管理の生産性向上と安全確保	都市部交差点直上での高速道路撤去工事における安全対策	大規模作業所における協力会社・職長会との協働について	熱中症対策における効果的なブレイクリングについて	施工現場におけるデジタル技術を用いたコミュニケーションの活性化	
16:15						
16:20	閉会挨拶 16:20～16:25 (5分)	閉会挨拶 16:20～16:25 (5分)	閉会挨拶 16:20～16:25 (5分)	閉会挨拶 16:20～16:25 (5分)	閉会挨拶 16:20～16:25 (5分)	

□ 研究発表 ■ 講話 ▨ 講演 ▩ 基調講演

※プログラムは変更になることもあります。

基調講演 講演者紹介



「JAL 機長の『Safety Management』の実践」

日本航空(株) 運航訓練部 価値創造室 室長 いしかわ はじめ
ボーイング767機長(兼) 飛行訓練教官 石川 宗 氏

ボーイング747-400副操縦士・機長を経て、ボーイング767機長となる。日本学術会議主催安全工学シンポジウムにて『Non-Technical Skills』に関する講演を行うなど、社外での講演多数。

機長は航空機の安全運航に関する全ての責任をおっています。また、刻々と変わる気象などフライト環境の変化にも対応しながら、毎回違うメンバーでチームパフォーマンスを最大限に高め、Safety Managementを実践するため、機長がどのように考え・行動しているのかを紹介します。

創立60周年記念部会 講演者紹介



「2024年問題と労働災害防止」

(株)日経BP 総合研究所 社会インフララボ 上席研究員 の なか さとし 野中 賢 氏

東京工業大学大学院社会工学専攻修士課程修了後、1992年に日経BP入社。建設専門誌「日経コンストラクション」編集部配属。2012年10月に編集長就任。2019年4月から現職。主に建設技術・DX、インフラ維持管理、建設業の生産性向上などの調査・研究に従事し、建設業界の社会・経済動向、建設DX、新技術活用などをテーマとした講師やパネリストも務める。



「人を活かし、技に生きる 一技術継承と労働災害防止一」

(株)KMユナイテッド 代表取締役社長・Founder & CEO たけのべ ゆきお
(株)竹延 オーナー 竹延 幸雄 氏

1973年広島県生まれ。早稲田大学大学院創造理工学研究科修士課程修了。大手鉄鋼メーカーでの人事、広告会社での営業を経て、2003年に妻の実家である塗装会社の竹延に入社。

「職人の後継者がいない」という大問題を突破するため、2013年職人育成会社のKMユナイテッドを起業し社長就任。同社における女性職人の育成などは広く注目を集めると同時に、スマホを使った職人支援プラットフォームや塗装ロボットの開発にも取り組む。さらに、現在、メイン事業として現場監督のノンコア業務に鉾脈を見出し、生産性が低迷する建設業を皮切りにモノづくり産業へ波及させる成功の共有化“シェアードサクセス”が一気に開花して業績を前年比約1.5倍ペースで拡大している。



「職場環境改善とコミュニケーション」

日本製鉄(株) 安全防災推進部 部長 しゅみや とおる 朱宮 徹 氏

1961年名古屋市出身。1987年東北大学卒業後、住友金属工業(現日本製鉄)に技術スタッフとして入社。和歌山製鉄所で分塊圧延工場長、安全健康室長を歴任し、現職に至る。

現場における経験を活かし、特に安全教育の分野で全社の安全推進業務を行っている。現場をよく観察し、働く人との対話を重視し、教科書通りの正論ではなく、現実的な安全管理を目指すのが信条。

建 築 部 会

8:45～	開 場	
9:00～9:10	開 会 挨 拶	部会長 清水建設(株) 安全環境本部 安全部長 神田 道宏
9:10～9:30 (20分)	発 表 ①	現場安全管理におけるICT活用 —「BIMの活用」「書類のデジタル化」「コミュニケーション利便化」への取組— 松井建設(株) 建設本部 ICT推進室 中井 健太郎 建設業にも「時間外労働の上限規則」が適用となった。上限規制を達成するためには「生産性向上と省人化」が必須であり、ICTツールを活用することで従来型の労働災害防止対策から新たな対策が実現できると考えられる。この度は当社で試みているICTツールによる安全管理事例について紹介させていただく。
9:30～9:50 (20分)	発 表 ②	BIMとアルバトロスを使い、特殊形状建築物における足場の計画・積算・施工での省力化・省人化をはかる —BIMを活用した省力化・省人化— 朝日機材(株) 本店 BIM計画部 伊藤 実希夫 躯体形状が複雑なRC造の建物であったため、特殊形状への取組みが求められたことから、自由度が高く安全性も兼ね備えた次世代型楔緊結式足場を採用された。更に BIM を活用した省力化の取組みについて報告する。
9:50～10:10 (20分)	発 表 ③	地下躯体工事の作業環境改善 —構台レスへのチャレンジ— 前田建設工業(株) 東京建築支店 晴海再開発タワー棟作業所 作業所長 林 昌記 東京オリンピック選手村跡地のタワーマンション建設工事において、地下工事施工計画時に切梁からアースアンカーに変更、コンクリート圧送をディストリビューターに変更、タワークレーンを早期に設置する事で構台レスに挑戦し、災害発生リスクの低減に成功した事例を紹介します。
10:10～10:20	休 憩	
10:20～10:40 (20分)	発 表 ④	無足場工法に対応したサッシの実現 —CWの構成見直しと3Dプリンター活用による施工性の検証— (株)LIXIL ビル事業本部 ビル技術統括部 工事監理部 ビル中四国・九州エンジニアリングセンター 九州施工管理チーム 担当 國廣 秀斗 弊社はサッシ仕様納まりについて、作業所・設計者と一体となり、初期段階より取り組む事で工事全体の安全性や生産効率向上に貢献。今回は、無足場工法に対応した『デザイン性とコストを両立』したサッシを実現させる為、カーテンウォールの構成の見直し、ファスナーの改良、3Dプリンターを用いた品質検証を行った。
10:40～11:00 (20分)	発 表 ⑤	複雑形状大屋根鉄骨工事における生産性向上と災害発生リスク低減への取り組み —Q・C・D・Sを兼ね備えたフロントローディング活動— (株)竹中工務店 神戸支店 チーフエキスパート 山室 広樹 神戸市の「須磨海浜水族園」と「須磨海浜公園」の再整備事業として、東西約850m、南北約100m計約10haの広大な事業エリア内で、フロントローディング活動を駆使し、地上高さ30m上空での複雑形状大屋根鉄骨工事において、全工期無事故・無災害を達成した。その内容についてイルカ棟を中心に報告する。
11:00～11:20 (20分)	発 表 ⑥	若手社員に教えて伝える 安全PDCA —なぜなあって？ みんなが一つに！ 安全の感性（危険予知）を養い無災害達成を目指して— 清水建設(株) 四国支店 建築部 統括工事長 中川 智也 業界空洞化により若手社員が重要なポジションで仕事をしている中、労働時間の削減で逆に経験を積上げる時間が掛かっている。工事全般でも言えるが特に安全に対する危険予知レベルの低下が垣間見える。そこでP(計画)を取組重点項目とした。計画が良ければ現場運営時点での労働時間の削減、イメージングによる経験(スキル)アップ、計画と実際の誤差を経験し感性や危険予知レベルの向上を図り、計画時点では教えて実際の場面で伝える事とした。
11:20～11:30	休 憩	
11:30～11:50 (20分)	発 表 ⑦	大規模半導体生産工場における安全衛生管理の取組み —ICTの活用と安全の意識・意欲の向上に向けた施策の紹介— (株)大林組 九州支店 SUMCOJV 工事事務所 所長 藤本 憲吾 (株)大林組 九州支店 安全部 担当課長 武田 元樹 (執筆当時 SUMCOJV 工事事務所 工事長) 既存工場構内で様々な条件や規制、制限がある中での増新築工事における、ICTの活用や事業主・職長の能力向上を図る施策、熱中症予防対策などの安全衛生管理及び、振動や周辺環境へ配慮した環境保全に向けた取組み事例の紹介。

11:50～12:10 (20分)	発表⑧	新幹線駅舎新築工事における施工計画 —BIM活用による鉄骨計画～揚重・運搬計画の効率化かつ安全性の向上— (株)奥村組 西日本支社 関西建築第1部 JRTT小松駅JV工事所 所長 勝田 真美 新幹線駅舎を新築する本工事では、複雑な鉄骨工事、外装工事を進める上で、BIM活用における鉄骨納まり検討、工期短縮かつ周辺状況を把握した上で、安全性を考慮し、かつ、鉄骨工事、仮設計画の施工計画が必要であった。今回はその検討実施成果を報告する。
12:10～13:00	昼 休	DVD上映
13:00～14:00 (60分)	基調講演*	JAL 機長の『Safety Management』の実践 日本航空(株) 運航訓練部 価値創造室 室長 ポーイング767機長(兼) 飛行訓練教官 石川 宗
14:00～14:10	休 憩	
14:10～14:30 (20分)	発表⑨	DXによるスマート安全管理について 西松建設(株) 滋賀湖南出張所 所長 森田 正登 様々なICTツールを活用し、安全管理業務の改革にチャレンジ！
14:30～14:50 (20分)	発表⑩	Risk Aversionまで深化させたRisk Assessmentの取組み —リスク“低減”をリスク“回避”へ 発想の深化— 東急建設(株) 東日本建築支店 第一建築部 作業所長 竹村 圭史 大学キャンパス内での施工として、第三者災害・公衆災害防止対策を第一に掲げながら、S造・RC造・SRC造が混在する躯体工事があり、多種多様な工種との取り合い作業がある中で、リスクアセスメントの実施で、安全を先取りした工事計画を立案し、危険作業が生じない作業手順を確立させた。
14:50～15:10 (20分)	発表⑪	狭小敷地工事における安全・衛生への取組み 戸田建設(株) 東京支店 建築工事3部工事3室 作業所長 横山 純一 当該敷地は大門の交差点に近接し、西側は国道第一京浜と地下鉄に面し、東側は区道汐留通りに面した間口9.5mの二面接道の敷地である。南北面は近隣建物が敷地境界際まで近接しており、隣接街区のマンションには住人も多く、工事における様々な配慮が求められた。本気で「何が皆に安全で最適か」を考え、協議し・実行した結果、全工期にわたり、無事故・無災害を達成した。
15:10～15:20	休 憩	
15:20～15:40 (20分)	発表⑫	三現主義とデジタルのベストミックスの追求 —ICTツールを積極的に活用した災害防止の取組— 清水建設(株) 横浜支店 安全環境部 部長 吉田 健一 本工事は大型物流施設の新築工事で敷地面積が大変広く、作業員も多いため、通常の安全管理手法では細かい点がフォローできない等の問題が想定された。そのような状況下でICTツールを積極的に採用することでその問題点を解消し、無事故無災害達成に取組んだ。
15:40～16:00 (20分)	発表⑬	世界貿易センタービルディング 鹿島スラッシュカット工法 —日本初 162mの超高層解体に挑む— 鹿島建設(株) 東京建築支店 世界貿易センタービルディング既存本館・別館解体工事 工事主任 澤田 紗代子 従来の解体工法は解体ガラ落下や、粉塵の飛散などのリスク及びコストの増加や工事期間の長期化という問題があったが、最高高さ162mの高層ビルの解体工事において、落下・風散・飛散リスクを低減し、かつ工期短縮を目指したブロック解体工法「鹿島スラッシュカット工法」を開発した。
16:00～16:20	発表⑭	ICTを活用した施工管理の生産性向上と安全確保 —映像・光による注意喚起とローカル5Gを用いた ドローン撮影360°リアルタイム画像による安全管理— (株)竹中工務店 東京本店 日立造船・竹中特定建設工事共同企業体 江戸川清掃工場建替工事作業所 建築プロジェクトマネージャ 大下 知英 東京都江戸川区で築後20年以上が経過した江戸川清掃工場の建替工事が進んでいる。騒音の拡散防止や粉塵の飛散防止など周辺環境に配慮した既存工場の解体を行った。江戸川清掃工場は工場棟と150メートル級の煙突からなり、階高が高く吹抜が多いため、進捗管理や安全巡回のために全ての場所を確認するためには多くの施工管理工数がかかる。2024年4月からの時間外労働の上限規制に対応するためには「ICTを活用した施工管理の生産性向上と安全確保」が喫緊の課題である。そこで「映像・光による注意喚起」と「ローカル5Gを用いたドローン撮影360°リアルタイム画像」の取り組みにより成果を上げたので報告する。
16:20～16:25	閉会挨拶	副部会長 鹿島建設(株) 東京建築支店 安全環境部 安全衛生グループ 担当部長 迫田 正幸

※13時からの基調講演は創立60周年記念部会会場（ホールC）で行います。

土木部会

8:45～	開 場	
9:00～9:10	開 会 挨 拶	部会長 鹿島建設(株) 特別参与 本多 敦郎
9:10～9:30 (20分)	発 表 ①	通年施工下、河川内橋脚基礎工事における安心・安全な施工管理 ー淀川河川内鋼管矢板井筒式基礎工の通年施工に係る安全管理と省力化施工の提案ー 清水建設(株) 関西支店 土木部 豊崎換気所・開削トンネル建設所 建設所長 山中 利明 本工事は、淀川河川内において橋梁下部工を構築するものであり、工期短縮と品質確保が喫緊の課題であった。そのため通年施工を行う条件下で台風退避等の安全上のリスクを抱えた形で省力化を提案し、所定の品質を確保し、無事工事を完工させた。
9:30～9:50 (20分)	発 表 ②	水再生センターの水処理施設増設工事における安全対策 ー本質的安全対策の重要性と建設DXを活用した安全管理の工夫についてー 飛島建設(株) 戸塚水処理作業所 監理技術者 澤田 邦博 稼働中の水再生センター内における水処理施設の増設工事において既存施設に有害な影響を及ぼさず、安全性を重視した施工方法への変更と建設DXを活用した安全管理の実施により本質的安全対策を実施した事例である。
9:50～10:10 (20分)	発 表 ③	ダム施工現場の重機災害防止に向けた安全の取り組み ー大切畑ダムにてICTを活用した事例ー (株)熊谷組 九州支店 大切畑ダム作業所 竹下 嘉人 建設業従事者の死傷者数は、他産業に比べて高い割合で推移している。特にクレーンを含まない重機災害は、転落災害のつぎに多く発生している状況である。このような重機災害の多くは、重機同士または重機と作業員との近接作業時に発生する。その原因は、人的ミスによるものが多い。これらの課題を解決し、現場内で危険な作業状況に陥ることを低減させる仕組みが求められている。本論文では、重機と人との接触防止を目的に当現場で稼働している重機へのICTの活用および運行管理システムの導入事例、さらには無人化施工による重機災害の防止から生産性向上、省人化に向けた取り組みについて述べる。
10:10～10:20	休 憩	
10:20～10:40 (20分)	発 表 ④	第二海堡におけるICT技術を使用した安全対策 ー離島工事の見える化を目指した取組紹介ー 東洋建設(株) 関東支店 東京湾口作業所 監理技術者 坂本 一真 東京湾中央航路の屈曲部に位置する第二海堡は、明治から大正にかけて建設された要塞である。本工事は第二海堡北側護岸の改修整備を実施している。離島という固有の条件下のもと、ICT技術を活用し遠隔地での安全管理活動を報告する。
10:40～11:00 (20分)	発 表 ⑤	山岳トンネル工事における切羽肌落ち災害防止対策 西松建設(株) 九州支社 松浦1号トンネル出張所 工事主任 松崎 史明 本トンネル掘削工事は、当初より複雑な地山性状のため崩落のリスクが予想され、実際施工中にも崩落が発生した。従って、そのようなリスクを低減するため、地山性状の把握に関する取組み並びにトンネル掘削の遠隔化・無人化の試行を行った。
11:00～11:20 (20分)	発 表 ⑥	トンネル工事の安全性向上と労働環境改善を目指して ー朝日温海道路11号トンネル工事における取組ー 大成建設(株) 北信越支店 朝日温海11号トンネル作業所 作業所長 板垣 賢 従来3Kと言われてきた建設業の中でも、トンネル工事は肌落ち災害等の発生リスクが高く、閉鎖された坑内で労働環境が悪くなりがちである。本報告は、朝日温海道路11号トンネル工事において実施した、トンネル工事の安全性の向上と労働環境改善を図るための様々な取組を紹介するものである。
11:20～11:30	休 憩	
11:30～11:50 (20分)	発 表 ⑦	訓練で技術を磨き保線屋の使命を果たす ー訓練を通じてリスク低減に取り組み安全力の向上を目指すー 名工建設(株) 軌道本部 静岡軌道部 浜松軌道事務所 軌道事務所長 山本 理志 弊社の軌道部門では、在来線及び新幹線における保線作業を施工しておりますが、作業時間の短い東海道本線での作業は、器具機械の取り扱い誤りによる失敗は即、列車の遅延に繋がりが決して許されないため、様々な訓練を通じてリスクの低減に取り組み、保線屋としての使命を果たしています。

11:50～12:10 (20分)	発表⑧	深山トンネル作業所の安全管理に思うこと ―この6年間を振り返って― 三井住友建設(株) 大阪支店 和歌山営業所 営業所長 栗本 州浩 北陸新幹線敦賀駅付近にて「トンネル工事」「橋梁上下部工事」「土工事」といった多数の工種を施工する工事で、工事区間には「ラムサール条約」登録の「中池見湿地」があり、湿地の流入水確保も課題であった。工事完了まで約6年間、作業所一丸となって活動した取り組みを報告する。
12:10～13:00	昼 休	DVD 上映
13:00～14:00 (60分)	基調講演*	JAL 機長の『Safety Management』の実践 日本航空(株) 運航訓練部 価値創造室 室長 ポーイング767機長(兼) 飛行訓練教官 石川 宗
14:00～14:10	休 憩	
14:10～14:30 (20分)	講 話	建設業を取り巻く現状と国土交通省の施策の展望 国土交通省 不動産・建設経済局 建設市場整備課 専門工事業・建設関連業振興室長 沖川 弘毅 建設業の現状や課題について、最新のデータを用いて解説するとともに、それに対する国土交通省の取組を紹介する。また、建設職人基本計画に基づく安全衛生経費の適切な支払いに向けた取組(安全衛生対策項目の確認表及び標準見積書)について説明する。
14:30～14:50 (20分)	発表⑨	高速道路リニューアル工事における安全管理について ―床版取替工における安全上の課題とその解決策― (株)大林組 東北支店 東北道宮城松川橋JV 工事事務所 主任 佐竹 基治 高速道路リニューアル工事における床版取替工での安全の課題と、それに対する取り組み事項についての成果報告。
14:50～15:10 (20分)	発表⑩	極狭小断面トンネルを NATM 工法レール方式で5km 掘削、安全への足跡 ―水力発電所建設プロジェクトにおける安全への取組み― 前田建設工業(株) 中部支店 土木営業部 営業推進第一グループ 主幹 小野 雅敏 再生エネルギーが注目される中、安定した発電が期待できる中部電力発注の流れ込み式水力発電所建設プロジェクトにおいて、安全面で最重要課題であった「極狭小断面かつ長距離トンネルを NATM 工法レール方式で掘削」における安全対策についての報告です。
15:10～15:20	休 憩	
15:20～15:40 (20分)	発表⑪	鉄道高架工事(直上工法)の安全への取り組み方 ―安全なクレーン作業および工事所の安全教育・指導方法について― (株)奥村組 西日本支社 関西土木第1部 阪急淡路JV 工事所 工事係 家弓 翼 鉄道営業線近接の直上施工において、近隣住民の生活環境を保全しつつ、鉄道輸送の安全を確保するための安全ルール・設備・対策・教育の取り組みについて述べる。
15:40～16:00 (20分)	発表⑫	ゼネコンの発想で考えた重機に着脱可能な360° 3Dモニター ―周囲の情報を見るための操作は一切不要にした全周囲モニターシステム― 鉄建建設(株) 東京鉄道支店 鉄道安全部長 布施 尚行 本内容は、自社で起きた重機と作業員の接触死亡災害を重大に受け止め、同様な事故を二度と起こさないために「世の中に回るICTを活用して重機災害を防ぐ安全装置を開発せよ」の社長命を受け、当社独自に重機災害を防ぐ安全装置を開発、商品化した経緯を紹介する。
16:00～16:20	発表⑬	都市部交差点直上での高速道路撤去工事における安全対策 ―空中で完結するPC 橋梁撤去技術(オーバーザブリッジ工法)― 大成建設(株) 関西支店 喜連瓜破橋大規模更新工事作業所 作業所長 島田 哲治 車両や歩行者が絶えず行き交う国道交差点直上において、老朽化した高速道路を更新するという前例のない危険で難易度の高い工事を受発注者一丸となり、創意工夫して安全に施工した内容を記載した。
16:20～16:25	閉会挨拶	副部会長 西松建設(株) 関東建築支社 安全部 部長 大坪 久

※13時からの基調講演は創立60周年記念部会会場(ホールC)で行います。

安全衛生教育部会

8:45～	開 場	
9:00～9:10	開 会 挨 拶	部会長 戸田建設(株) コーポレート本部 安全管理統轄部 安全管理1部 担当部長 小澤 重雄
9:10～9:30 (20分)	発 表 ①	太陽のように明るい建設業を目指して！ ―「衛生文化」を創る女性視点による25年の足跡― 建設業労働災害防止協会 山梨県支部 オレンジ隊 隊長 志村 美紀 太陽のような明るい建設業を目指し、「あたえよう再点検のプレゼント」を合言葉に25周年を迎えた「建災防山梨県支部オレンジ隊」は、時代の変化や建設業を取り巻く様々な環境が変わるうとも、熱意ある信念を代々受け継ぎ、その様々な取り組みは、現場で働く方々に新たな「気づき」として県内建設現場に受け入れられてきました。安全衛生の「衛生」のファクターはやがて「衛生文化」として息づく「明るい建設業」を目指したオレンジ隊の足跡をご紹介します。
9:30～9:50 (20分)	発 表 ②	空港リノベーション工事における航空保安事故防止対策 ―どんな時も笑顔と知恵と不屈の粘りで乗り越えよう！旅客の安全と動線確保、そして工程厳守、リノベーションで世界に誇る新空港― (株)大林組 大阪本店 関空T1工事事務所 副所長 勇崎 俊宏 関西国際空港のリノベーション工事のため空港施設の運営を妨げず工事を行うことが絶対条件である。常時500人以上が作業する工事において、空港運営に影響を及ぼす航空保安事故ゼロを目指して取り組んだ事例について報告する。
9:50～10:10 (20分)	発 表 ③	技能工の社員登用・育成と多能工化による生産性の向上 ―“攻める”育成システムにより能力高度化を図る― 博多装工(株) 代表取締役社長 中園 政夫 当社では、職人を「多能工」化することで生産性の向上を図るとともに、職人を「社員登用」することにより安定した雇用を提供することでモチベーションを維持・定着を達成している。さらに「独自の研修施設」を設置することで、新人研修だけでなく技能検定前の実技練習にも活用できることから職人の連度向上に寄与している。ベトナム人技能実習生はこの施設で技能を修得して全国で活躍しているが、帰国後はベトナムに設置した当社の同様の研修施設で後進の育成にあたり、その受講生がまた当社で働くという好循環が実現している。
10:10～10:20	休 憩	
10:20～10:40 (20分)	発 表 ④	次代へつなぐルールと歴史、階層別安全衛生教育の誕生 ―歴史の継承と、安全衛生教育の参加率向上へのチャレンジ― 中林建設(株) 安全・品質管理室 室長 岩崎 亘 従業員180人ほどの中林建設では多くのベテラン社員の退職が目前に迫っている。創業70年を超える会社の歴史と積み上げたルールを正しく次世代に継承する教育の「創造」と、人手不足の中、教育への参加率を向上させるための「チャレンジ」が始まった。
10:40～11:00 (20分)	発 表 ⑤	大空間アリーナ建設における安全対策について ―アリーナ施設の施工におけるBIMを活用した安全対策の工夫と改善事例― 清水建設(株) 千葉支店 建築部 工事長 塩田 克彦 アリーナ施設という大空間建物の屋根鉄骨工事や屋根面の設備工事において、BIMを活用し3Dによる施工手順と安全性、仮設計画を立案し、VRを活用した施工業者との立体的な合意形成を実施。また、屋根面に設置される設備機器(空調ダクト・配線ラック)とキャットウォークについては、ユニット化を計画することで、地組と一括揚重により高所作業量を削減させ、作業性と安全性の向上を実施。
11:00～11:20 (20分)	発 表 ⑥	整理整頓の徹底による災害ゼロを目指す安全衛生管理 ―整理整頓を通じて職場環境の改善を行い、安全意識の向上を行う― 前田建設工業(株) 東京建築支店 十条西口再開発作業所 統括所長 石山 勝俊 十条駅前の再開発工事において、安全の基本は整理整頓であるとの強い信念のもとに、現場乗り込み時から職場環境・安全意識改善による『災害ゼロ』を目指した職場づくりに取り組むことを活動方針として職場の運営を行った、その実施内容と効果について報告します。
11:20～11:30	休 憩	
11:30～11:50 (20分)	発 表 ⑦	建設現場での転倒災害ゼロを目指して ―廃材を利用した防滑材で現場のあらゆる場所で防滑効果発揮― 東急建設(株) 災害防止協力会 木造建築支部 支部長 峯岸 政夫 (峯岸工業(株)) 建設現場における労働災害の原因は、壁転落や転倒災害が非常に多く、なかでも転倒災害に着目した。環境に適した廃瓦や廃陶器といった、骨材と樹脂を混合させた防滑材を滑りやすい場所に塗布することで、防滑効果を高め、転倒災害を未然に防ぐ対策の事例をまとめた。

11:50～12:10 (20分)	講 話	労働災害防止に向けた厚生労働省の取組について 厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課 建設安全対策室長 土井 智史 〓 最近の建設業における労働災害の動向や労働災害防止に向けた厚生労働省の取組について解説する。
12:10～13:00	昼 休	DVD上映
13:00～14:00 (60分)	基調講演*	JAL 機長の『Safety Management』の実践 日本航空(株) 運航訓練部 価値創造室 室長 ポーイング767機長(兼) 飛行訓練教官 石川 宗
14:00～14:10	休 憩	
14:10～14:30 (20分)	発 表 ⑧	現場の工夫と建設ICTの活用で合理化と安全管理を推進した事例 鹿島建設(株) 関西支店 NITE第二NLAB工事事務所 現場所長 森脇 徹 〓 当工事は、(独)製品評価技術基盤機構様の実験施設を建設する工事であり、大断面の壁厚・スラブ厚の躯体という高い要求性能を求められる工事であるため、施工中に何度も試行錯誤を繰り返した。“和衷協同”という現場スローガンのもと、様々な取り組みを行った結果、大きな成果を得ることができたので、本論文にまとめ報告する。
14:30～14:50 (20分)	発 表 ⑨	コクドオリジナル安全対策 —労働災害発生データ分析による効果的な対策 および視覚からの注意喚起による危険感受性の向上を図る— 日本国土開発(株) 安全品質環境本部 安全品質環境部 植野 梓 〓 “自分の身は自分で守る”危険感受性向上を目的とした「ひとり現地KYの強化」、二次以下の職長層における「リーダーシップ向上と危険感受性の向上を図る指導教育」、回転式工具使用時にヒューマンエラーにより発生する手指の切れ・こすれ災害防止を図った当社オリジナル安全対策。
14:50～15:10 (20分)	発 表 ⑩	ネットワーク配信型VR安全教育 —「V-SAT(Virtual Safety Training)」の開発と展開— (株)竹中工務店 東京本店 安全環境部 安全グループ 安全担当 小山 直久 (株)竹中工務店 東京本店 安全環境部 安全グループ 安全担当 斉藤 亮 〓 近年の労働災害の発生要因を分析すると、管理者側の主要因は「作業計画の未作成」、被災者側の主要因は「作業手順の理解不足」が最も多いことが分かった。これらに共通する原因は、危険作業に対するリスクアセスメント(危険源の特定)が十分に行えていないことである。また熟練作業員の減少・協力会社の人材不足などもあり、協力会社の教育環境は整備されていると言えない現状がある。そこでこれらの問題を解決するための新たな安全教育方法として、ネットワーク配信型VR安全教育を開発するに至った。
15:10～15:20	休 憩	
15:20～15:40 (20分)	発 表 ⑪	外国人建設作業員の日本語教育 —協力業者による外国人技能実習生の日本語教育状況— 大成建設(株) 東京支店 建築部 安全環境推進室 課長 小田島 仁 〓 建設業の日本人労働者不足により、外国人労働者が急増しています。全産業の中でも危険度の高い建設業において、外国人労働者の日本語教育は、現場の災害発生数に直結するため、将来を見据えた、外国人受入れ業者の活動を紹介。
15:40～16:00 (20分)	発 表 ⑫	「新ヒヤリハット報告」の導入に向けて —成功体験としてのヒヤリハット報告で、全員参加の「本気の安全の眼」を活用— 東急建設(株) 安全環境本部 安全部 部長 田中 克志 〓 本論文は、重篤災害の防止に向け重点施策として、全員参加の「本気の安全の眼」を活用することとした。「本気の安全の眼」による情報の収集とレベルアップのため、新ヒヤリハット報告を導入し、全社展開を行う試みを取り纏めたものである。
16:00～16:20	発 表 ⑬	大規模作業所における協力会社・職長会との協働について —『対話と共感』で当事者意識を高め安全を作り出す— 戸田建設(株) 東京支店 建築工事3部工事1室 作業所長 庄司 大輔 〓 職長会活動を通じて安全かつ効率的で円滑な作業所運営を心がけ、協力会社・職長会と共に安全を作り出す。
16:20～16:25	閉会挨拶	(株)ピーエス三菱 本社 安全品質環境室長 田中 稔大 ※13時からの基調講演は創立60周年記念部会会場(ホールC)で行います。

低層住宅部会

8:45～	開 場	
9:00～9:10	開 会 挨 拶	部会長 大和ハウス工業(株) 本社 技術統括本部 安全部 専任部長 吉田 伸司
9:10～9:30 (20分)	発 表 ①	VR体験による安全意識の向上 ―災害疑似体験の安全教育効果― 大和ハウス工業(株) 技術統括本部 安全部 係長 阿部 充 VRシステムを活用した災害の疑似体験を通し安全意識を向上させる取り組みについて、体験者のアンケート集計を基に評価する。
9:30～9:50 (20分)	発 表 ②	快適・働きやすい現場環境の取組みについて ―快適トイレ推進化【京阪神エリア】― 大阪住宅安全衛生協議会 現場環境改善部会 副部会長 ベクセス(株) 西日本推進部 部長 佐々木 祥訓 低層住宅工事現場での労働供給力が大幅に落ち込んでいる中、若手を含めた担い手確保に向けて職場環境改善が喫緊の課題と言える。当部会では、現場で職人さんが利用するトイレが未だに「和式仕様」が大半を占めている現状に着目し、職場改善の一環として「快適トイレ推進化＝洋式トイレ」を提言したい。
9:50～10:10 (20分)	発 表 ③	高齢熟練職人さんの力を発揮できる環境、意識作り ―若い職人がいない！ならば地元熟練職人でまだまだやるしかないじゃない！ だっていないんだもの！― 中野土建(株) 建築部 工事所長 鈴木 伸幸 地方田舎の低層住宅建築工事に携わる職人さんの減少により、地元の高齢熟練職人さんと共に造り上げる家造りの現状。高齢熟練職人さんがいかに長く、安全に快適に、生きがいを持ち、生涯現役で輝き仕事を続けられるか。同時に匠の技の継承。そんな姿が建設業の魅力となり、今後若者の胸に響くかが建設業の未来の課題となる。
10:10～10:20	休 憩	
10:20～10:40 (20分)	発 表 ④	事業主・建設技能者のDXへのアプローチ ―デジタルツールを活用した業務変革への道― 大和ハウス工業西関東地区協定会 東京西支部 安全衛生環境部会長 (有)義沢興業 代表取締役社長 義澤 浩一 大和ハウス工業(株) 東京本社 技術統括本部 建設DX推進部 DX企画施工グループ グループ長 川勝 弘太朗 大和ハウス工業の物件ポータルサイトの活用により、現場のリアルタイム映像の確認により翌日の計画を立てやすくなり、またKY活動や資材搬入予定の確認など当日の施工準備が簡単になった。本件では事業主、現場の建設技能者の両面から見たデジタルツール活用の業務改善例を紹介する。
10:40～11:00 (20分)	発 表 ⑤	スマホで安全衛生教育 ―大和ハウス工業協定会連合会の安全衛生教育DX化の取組み― 大和ハウス工業協定会連合会 安全衛生環境部会 部会長 (株)藤政工業 代表取締役 藤代 政宗 (株)日本コンサルタントグループ メディアセンター プロデューサー 伊藤 洋也 従前の安全衛生教育が抱えていた現場に入場される全ての労働者に行き届きにくい、事業主が労働者に対して確実に安全衛生教育を実施することが難しいという問題に対し、我々大和ハウス工業協定会連合会が元請けである大和ハウス工業(株)様、(株)日本コンサルタントグループ様とともにDXを取り入れ、これらの問題改善に取り組んだ内容を発表致します。
11:00～11:20 (20分)	発 表 ⑥	お客様目線で見える住宅系現場監督の働き方について ―アンケート結果から働き方改革への提案― 全国低層住宅労務安全協議会 じゅうたく小町部会 浅岡 みづき (積水ハウス(株)) じゅうたく小町部会では、以前より現場で働く技術者の働き方について実態調査を行い提言を行ってきた。お客様目線でアンケート調査を行い、更なる働き方改革への提案を行う。
11:20～11:30	休 憩	
11:30～11:50 (20分)	発 表 ⑦	プレハブ建築マイスター制度について ―プレハブ建築大工技能者をプレハブ建築マイスターと称し認定― (一社)プレハブ建築協会 住宅部会 労務安全分科会 代表幹事 奥山 峰晴 CCUS能力評価制度でプレハブ建築の施工現場に従事する大工技能者の対象外だったのを評価が反映されるように本制度は制定され、(一社)プレハブ建築協会が技能・技術に優れ、職長又は班長として十分な能力を有する者を「プレハブ建築マイスター」として認定することにより、施工現場の合理化や生産性向上を図り、プレハブ建築の品質の向上及び安全・衛生の確保に資することを目的としています。

11:50～12:10 (20分)	発表⑧	能登半島地震の復興事業における安全対策 —令和6年能登半島地震災害発生における応急仮設住宅— 大和ハウス工業(株) 本社 技術統括本部 安全部 西日本地区(北関東) 吉敷 洋志 令和6年1月1日に発生した能登半島地震における災害地への応急仮設住宅の着手に掛かり、災害による道中の悪路による弊害やストレス環境における体調面への負担、現地がいかに被災者の方たちにとって辛い環境下に置かれているか。その思いを持って1日でも早く被災者の方に応急仮設住宅を届ける中、いかに安全確保する上でどう対処していくべきかを取りまとめた。
12:10～13:00	昼 休	DVD上映
13:00～14:00 (60分)	基調講演*	JAL 機長の『Safety Management』の実践 日本航空(株) 運航訓練部 価値創造室 室長 ポーイング767機長(兼) 飛行訓練教官 石川 宗
14:00～14:10	休 憩	
14:10～14:30 (20分)	発表⑨	ICT活用によるSDS(セーフティデータシート)ならびにリスクアセスメントの業務負荷軽減 —データ連携により広がる可能性— 大和ハウス工業(株) 技術統括本部 建設DX推進部 DX運営室 施工第1グループ 主任 西村 祥平 当社の低層住宅の特徴のひとつである「企画商品」を活かし、当社が取り扱う部材について各メーカー様のSDSの最新版を格納するデータベースを整備した。邸別データベースと掛け合わせることで、物件1棟ごとに必要となるSDSを自動で引き当てることを実現した。事業主、建設技能者は自社(自身)が従事する施工現場ごとにリスクアセスメント対象となる部材を把握でき、SDSを確認し、リスクアセスメントを実施できる。元請けである当社は、同一のアプリケーションの中で事業主・建設技能者の実施状況・該当作業日の既読状況をタイムリーに把握できる。
14:30～14:50 (20分)	発表⑩	足場先行工法に適したポケット型クサビ足場の進化 —木造建築工事における低層から中層の足場先行工法による挑戦— (株)東京BK足場 取締役副社長 栗山 拓人 ポケット型クサビ足場部材の開発、足場レンタルに伴う安全管理業務代行サービスの開発、TB上棟システムの開発について述べる。
14:50～15:10 (20分)	発表⑪	建設現場の海外人材の活躍 —海外人材の成長が現場の安全を守る— (株)デザイン 安全管理部 部長 安西 清次 建設業界の高齢化や就労者不足で人材の確保が大きな課題となっており、技能実習生や特定技能など海外人材に頼らざるを得ない状況である。言葉や文化の違い、経験や知識不足が事故につながるケースも少なくない。課題を解消し海外人材が活躍できる環境を整えることが、共に働く人々の職場環境の改善につながると考える。
15:10～15:20	休 憩	
15:20～15:40 (20分)	発表⑫	親綱使用における転倒時支柱挙動検証実験 —親綱設置時の注意および親綱使用の提案— 全国低層住宅労務安全協議会 環境・安全対策部会 顧問 大江 任 全国低層住宅労務安全協議会 安全パトロール部会 副部会長 白水 匡 低層住宅の屋根作業用の親綱を設置する足場建地の設置方法、補強方法の違いによる足場の挙動検証実験を実施し、結果から足場設置時の注意点を確認。屋根、外壁作業時のフルハーネス型墜落制止用器具の使用促進のため、親綱関連商品の紹介、親綱利用方法の提案。
15:40～16:00 (20分)	発表⑬	疑似体験安全動画の活用による類似災害再発防止活動について —他エリアで発生した類似災害をいかに自分事として捉えさせ その再発防止及び管理側社員の意識改善と業務効率化に繋げられるか?— 積水ハウス(株) 施工DX推進グループ エグゼクティブ・スペシャリスト 戸田 賢一 低層住宅施工現場は、従事する職方が限られたパターンでルーティン作業をしており、災害についても同様に「類似的」に発生しております。本来であればその利を活かし、類似災害対策に注力すれば必ずと災害減少に繋がるはずと考えますが、現実には減少に至っておりません。当該研究はその原因を分析し、「疑似体験安全動画」の職方及び関係社員への視聴推進に加え、キャンペーン等の後方支援策の効果的活用により類似災害減少に加え管理側社員の意識改善と業務効率化に繋げた施策を発表します。
16:00～16:20	発表⑭	熱中症対策における効果的なプレクーリングについて —深部体温を下げ体温上昇を抑えるアイススラリー— 大和ハウス工業(株) 技術統括本部 安全部 連携グループ 井上 葉慈 令和3年「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」実施要綱において、作業開始前にあらかじめ深部体温を下げ、作業中の体温上昇を抑えるプレクーリングが示されました。弊社では、当時猛暑による熱中症が多発され大きな課題として対策を強化している時であり、従来の外から体温を下げる考えから、この新たな考え方である深部体温に注目し、この年の2021年より、市販されている「アイススラリー」を現場常備品として展開を始めました。この建設現場において展開・活用した事例と実績について紹介致します。
16:20～16:25	閉会挨拶	副部会長 大和ハウス工業(株) 本社 技術統括本部 安全部 連携グループ 技術主幹・グループ長 石野 健二

※13時からの基調講演は創立60周年記念部会会場(ホールC)で行います。

創立60周年記念部会

8:45～	開 場	
9:00～9:10	開 会 挨 拶	部会長 清水建設(株) 安全環境本部 顧問 伊藤 勝啓
9:10～9:50 (40分)	講 演 ①	2024年問題と労働災害防止 (株)日経BP 総合研究所 社会インフララボ 上席研究員 野中 賢 建設業界で最大の課題である「2024年問題」。残業時間の上限が定められた一方で、人手不足の解消は進んでいません。短時間に多くの作業をこなさなければならない環境下では、労働災害の増加が懸念されます。本講演では、人手不足を少しでも解消し、労働災害を防ぐための方策について考えていきます。
9:50～10:10 (20分)	発 表 ①	大規模作業所における最新デジタル技術とアナログの融合による安全管理の進化への挑戦 —最先端のハードとソフトを現場で具現化して安全管理 DX— (株)竹中工務店 広島支店 作業所 作業所長 藤井 秀治 施工管理密度が低くなりがちな大規模作業所においてクラウドカメラとドローン、またビジネスチャットソフトなどの最先端デジタル技術と、熟練者によるアナログ的な安全管理ノウハウを融合させ、効率的な次世代の安全管理の進化へ挑戦した事例を紹介します。
10:10～10:20	休 憩	
10:20～10:40 (20分)	発 表 ②	法定時間外労働時間削減に向けて —ICTの活用と業務スケジュール管理の創意・工夫例— 鹿島建設(株) 関西支店 住友金属鉱山播磨工事事務所 課長代理 芦谷 直哉 2024年の労働時間上限規制が間近に迫る中、建設現場での働き方改革への取組みと業務の効率化は、最重要課題である。本報文は、この課題を克服するため、ICTツールの活用や各々の業務分担についての効率化・省力化の可能性を模索しながら、当現場で積極的に取り組んできた活用事例を紹介するものである。
10:40～11:20 (40分)	講 演 ②	人を活かし、技に生きる —技術継承と労働災害防止— (株)KMユナイテッド 代表取締役社長・Founder & CEO 竹延 幸雄 職人不足が深刻化する建設業界において、年齢、性別、国籍に関わりなく、やる気のある人材を職人として育成し、多様な人材の力でイノベーションを生み出し、急成長している同社の取り組みは、安全管理技術の継承や人材育成に役立つものと思われまます。
11:20～11:30	休 憩	
11:30～11:50 (20分)	発 表 ③	急速な世代交代に対応するための効果的な人材育成戦略 —「考える力」を養う安全教育を目指して— 鉄建建設(株) 安全推進室 副室長 瀧渕 吉則 この論文では「鉄道工事安全システム」の人材育成戦略が焦点。工事管理者研修や建設技術センターを活用し、実践的な安全教育を提供。兼務者制度や作業所教育で安全意識向上を図り、基礎研修で知識獲得と経験共有。次世代の育成に注力し、「究極の安全」を目指す組織体制と教育の重要性を強調。
11:50～12:10 (20分)	発 表 ④	いつまでも元気に働くために —高年齢作業員体力測定マニュアルの作成に向けた取り組み— 清水建設(株) 安全環境本部 安全部 長谷川 晶子 建設業に携わる就業人口は年々減少し慢性的な人手不足にある。一方で現就業者の高齢化も急激に進んでおり災害も増加傾向である。しかし高年齢作業員の技術・経験は重要なものであり、若手育成、人手不足解消の観点から年齢に縛られず長く働くことを目指すマニュアルを作成した。
12:10～13:00	昼 休	DVD上映
13:00～14:00 (60分)	基調講演*	JAL 機長の『Safety Management』の実践 日本航空(株) 運航訓練部 価値創造室 室長 ポーイング767機長(兼) 飛行訓練教官 石川 宗 機長は航空機の安全運航に関する全ての責任をおっています。また、刻々と変わる気象などフライト環境の変化にも対応しながら、毎回違うメンバーでチームパフォーマンスを最大限に高め、Safety Managementを実践するため、機長がどのように考え・行動しているのかを紹介します。
14:00～14:10	休 憩	

14:10～14:30 発表⑤ **心理学・教育学のアプローチによる安全管理システムのニューモデル**
—安全管理活動および災害発生メカニズムの心理学的検討・評価—

戸田建設(株) 本社 コーポレート本部 安全管理統轄部 安全管理2部 課長代理 渡辺 裕司
戸田建設(株) 名古屋支店 パイロットインキミよし工場事務棟新築工事 建築工事部工事3室 作業所長 竹内 昌史

心理学・教育学の社外研究者と連携して安全研究チームを構築した。
各々の専門知識を踏まえ、①チームビルディング調査、②契約戦略、③(安全風土)質問紙調査、④トレーニング戦略を検討した。
その結果、工事契約時から安全面での介入が可能となる等、得られた成果より安全管理を考察する。

14:30～14:50 発表⑥ **新ヒヤリハット報告の分析がもたらす新たな安全活動**
—チャットGPTを活用したDXによる推進と安全活動の融合—

建設業労働災害防止協会 山梨県支部 部長 山本 憲一

建災防が考案した「新ヒヤリハット報告」をヒントに、次世代につなげる「新ヒヤリハット分析」をはじめ、チャットGPTを活用した安全衛生のDX化の推進と安全活動を融合させ安全な状態を保つステイフ(STAYFE: Stay保つSafe安全)による取り組みにより、「己を知り・己を研ぎ・己のために行動する」ことを「安全の心得」とした、数年先の労働災害減少という結果をもたらす、明るい建設業界を目指したい。

14:50～15:30 講演③ **職場環境改善とコミュニケーション**

日本製鉄(株) 安全防災推進部 部長 朱宮 徹

安心して安全に働くことができる職場を作ること、良い製品やサービスを生み出すためにも、働く人の幸せのためにも大切なことです。そんな職場づくりのためにはトップが本気になることだけではなく、現場の生の声をどこまで引き出せるかがカギになります。現場の人にしかわからない職場のリスクや課題を発掘し改善することは、ケガの要因を減らすだけではなく、風通しの良い生き生きとした職場づくりにも寄与します。

15:30～15:40 休憩

15:40～16:00 発表⑦ **情報発信地『渋谷』から「人がつくる。人でつくる。」の取り組み**

戸田建設(株) 東京支店 建築工事1部工事3室 作業所長 不破 卓見

本工事は現場のキーマンである職長と一体となって現場運営に取り組み、国籍、人種、年齢、性別に関係なく全ての作業員が働きやすく、安全な作業環境構築に努めた結果、2023年11月末に無事竣工を迎えた。コミュニケーションが取りやすい作業所を目指し、職長会活動と連携した安全管理を実施した結果、当事者意識が向上し、災害防止にも寄与した。

16:00～16:20 発表⑧ **施工現場におけるデジタル技術を用いたコミュニケーションの活性化**
—ICT-FULL活用工事における安全の取り組み—

清水建設(株) 土木東京支店 新東名川西高松建設所 工事長 檜 一茂

新東名川西工事では施工の各段階の全てのプロセスを通してi-Constructionに取組んでおり、施工の効率化・高度化を図っているが、安全管理においても従来の安全管理手法に加え、デジタル技術を活用する事で確実な災害防止を図っている。本論文では特にデジタル技術を用いた現場内のコミュニケーションの活性化とその効果について取りまとめる。

16:20～16:25 閉会挨拶 副部会長 大成建設(株) 安全本部 安全部 安全指導室 専任部長代理 浅野 健一郎

**建災防は、皆さまのおかげをもちまして
令和6年9月1日に創立60周年を迎えます。**

「人命尊重」という崇高な基本理念のもとに、
協会設立以来、今日まで長年にわたって
業界の自主的な労働災害防止活動を積極的に推進してまいりました。
今後とも建設業における労働災害の防止に努力してまいります。

創立60周年記念サイトはこちらから



 **建設業労働災害防止協会**

コスモス部会

8:45～	開 場	
9:00～9:10	開 会 挨 拶	部会長 (株)熊谷組 安全本部 安全推進部 部長 大川原 栄治
9:10～9:30 (20分)	発 表 ①	当社の安全衛生マネジメントシステム運用の課題 一次世代が変えようとしているシステム運用一 (株)熊谷組 安全本部 安全推進部 担当部長 八木 幹夫 当社は、安全衛生マネジメントシステムを導入して20年以上を経過している。その間、一時は業界トップと言われた安全成績を残していたが、近年は安全衛生目標にはほど遠い状況となっている。 そこで業務の効率化を図りながら、今まで行われていた安全衛生パトロールやシステム監査のあり方を見直し、若手や次世代が厳格な評価により見過ごされていた事項の改善を促すことで安全衛生管理のPDCAを確実に実施させようとする取組みを紹介する。
9:30～9:50 (20分)	発 表 ②	持続可能なシステム運用に向けて 一全社一体で取り組む自主的な安全施工サイクル一 五洋建設(株) 安全品質環境本部 担当部長 中野 雅昭 COHSMSの運用において、評価(C)と改善(A)が形式的となり、システムの成長が阻害されていた。これらを改善するべく、若手への教育や内部監査員のレベルアップ、ICT活用等の対策を継続的に進め改善してきた。今後においても、全社一体となって「ゼロ災害」に向けたシステムの具体的な効果的な改善に取り組んでいく。
9:50～10:10 (20分)	発 表 ③	化学物質リスクアセスメントの深化 一コスモス認定更新にともなう改善の取り組み一 東急建設(株) 安全環境本部 安全部 安全専門部長 鈴木 祐一 東急建設(株) 安全環境本部 安全部 長田 貴則 化学物質リスクアセスメントを実施することが法律で義務づけられた。これを受けコントロール・バンディングによる管理手法を標準として展開していたが、コスモス認定更新時に化学物質リスクアセスメントに対する改善が望まれる指導を受け、より実効性の高い化学物質リスクアセスメントを構築し取り組んだ内容を報告するものである。
10:10～10:20	休 憩	
10:20～10:40 (20分)	発 表 ④	COHSMSガイドラインに準拠した安全衛生活動 一システムを廻す安全衛生活動の大切さ一 (株)安藤・間 名古屋支店 安全環境部 部長 蔭西 佳典 安藤ハザマ 名古屋支店では、2021年11月にコスモス認証を取得し2年余り運用してきましたが、担当者として感じる、みんながシステムを理解して運用することやシステム監査をしっかりと実施することの重要性。
10:40～11:00 (20分)	発 表 ⑤	OSK-COHSMSのあゆみ 一サブコン COHSMS 認定1号の15年の足跡一 オーク設備工業(株) 安全環境部 担当部長 佐々木 繁雄 オーク設備工業(株)の概要説明。COHSMS取得までのあゆみ。COHSMS認定後の紹介他。
11:00～11:20 (20分)	発 表 ⑥	わが社の安全衛生の取り組み 一コスモス導入から構築、そして認定取得 ～中小建設業のコスモス認定への取り組み～ 一 (株)三浦工務店 安全管理部 安全管理部長 酒井 利久 コスモス導入から構築、そして認定取得において、「安全第一」を掲げながら、中々「コスモス導入」に踏み切れなかった中小建設業である弊社が、「コスモス認定取得」するまでの取り組みについてご紹介いたします。
11:20～11:30	休 憩	
11:30～11:50	発 表 ⑦	コスモス導入による安全管理水準の向上と店社実施事項の明確化 戸田ビルパートナーズ(株) 本社 安全部 安全課長 善光 安次 当社のコスモス導入の経緯から、建設業だけでなくビル管理事業なども行っているため、導入にあたって考慮したこと。認定を取得して4か月余りではあるが、システムの運用を始めて効果が上がってきていること、今後の課題などをまとめたものです。
11:50～11:55	閉 会 挨 拶	建設業労働災害防止協会 事業部長 小笠原 清美

※13時からの基調講演は創立60周年記念部会会場(ホールC)で行います。

14:30～

コスモスレベルアップミーティング(東京交通会館 第一会議室A(予定))

※参加は事前に登録されたコスモス認定企業に限ります。

会場での受付方法のご案内

初日受付

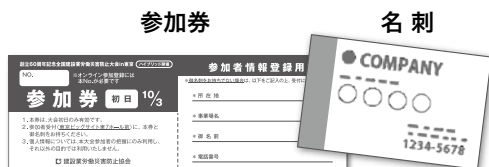
東京ビッグサイト 10時30分～
(東展示棟 東7ホール前)

2日目受付

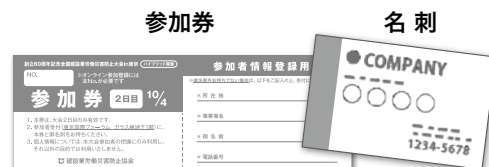
東京国際フォーラム 8時30分～
(ガラス棟B1F ロビーギャラリー)

STEP1 初日参加券に名刺を1枚添えて、「参加者受付」に提出してください。

2日目参加券に名刺を1枚添えて、「参加者受付」に提出してください。



初日



2日目

※名刺をお持ちでない場合には、参加券にお名前等をご記入いただき、提出してください。

STEP2 参加証を受け取ってください。
(参加証は初日、2日目で異なります。)

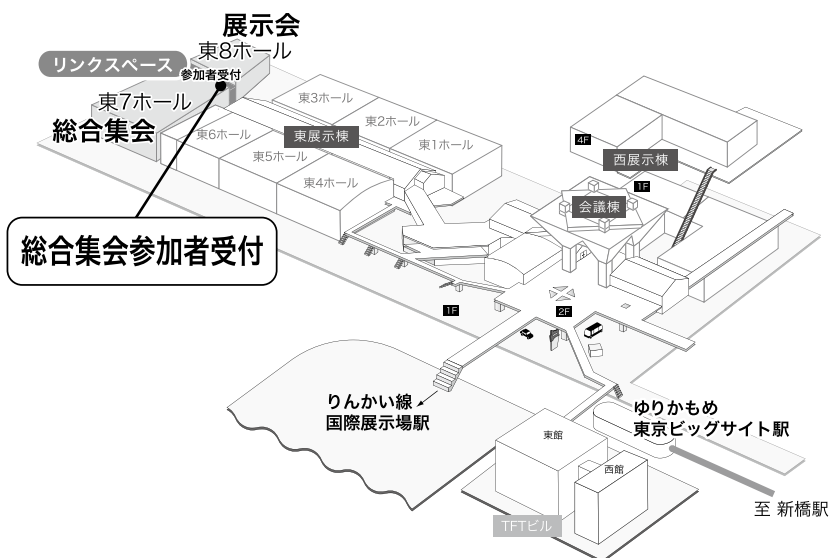
STEP3 資料は資料引換券を会場の「資料引換所」に提出し、受け取ってください。
(資料は初日、2日目ともに共通です。)



(※イラストはイメージです。)

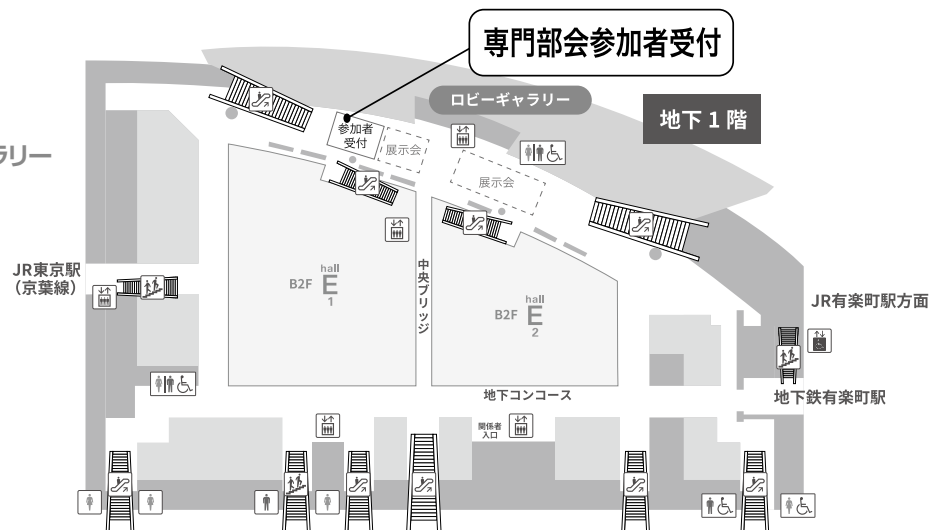
初日受付場所

東京ビッグサイト
東展示棟 東7ホール前



2日目受付場所

東京国際フォーラム
ガラス棟B1F ロビーギャラリー



オンライン参加方法

現地に参加される方へ

大会当日にお渡しする資料にて「ユーザー名」「パスワード」をご案内しますので、オンライン参加の申込みは不要です。

①参加券の購入（建災防支部または本部）



②建災防ホームページ上のオンライン参加申込みページから、メールアドレスを登録する。



③登録したメールアドレスへ自動で申込みフォームが送信される。

申込みフォームに参加者情報を入力する。

※入力の際は必ず参加券をお手元にご用意ください。参加券に記載の4桁の番号が必要です。



④申込受付完了で、オンライン視聴用ユーザー名とパスワードが記載されたメールが自動配信され、登録が完了となる。



参加券申込みのご案内

申込方法

最寄りの都道府県支部または本部に詳細をご確認のうえ、「参加券申込書」に必要事項をご記入いただき、お申し込みください。参加券申込書は、建災防本部ホームページ (<https://www.kensaibou.or.jp>) よりダウンロードできます。



参加券 (現地参加・オンライン参加共通)

10,000円(税込) ※参加券は初日参加券・2日目参加券・資料引換券がセットになっております。

参加券申込書

参加費合計：金	円	名分
事業場名：		※どちらかを○で囲んでください 会員 ・ 非会員
所在地：		
所属部署：		
代表者氏名：		TEL：

令和6年 月 日
建設業労働災害防止協会

支部・本部 御中

シゲマツ

創業1917年



上下・左右が見渡せる大きなアイピース

革新的な視界を確保したゴグル

保護めがね(ゴグル形)

ベンチレーター(換気口)なし!

LX-92

適合規格 JIS T 8147:2016
EN 166:2001 クラス1

フレーム



X型のフレームが柔軟に動くので
色々な顔の形状にフィット

視力矯正めがねと併用可



視力矯正めがねのテンプル(つる)
を通すスペースを確保



株式会社 重松製作所
SHIGEMATSU WORKS CO., LTD.
www.sts-japan.com

本社

〒114-0024 東京都北区西ヶ原1-26-1
TEL 03(6903)7525(代表)



Evo.123

軽さ。コンパクトさ。涼しさ。

劇的進化



新内装
「エアライトS」
サポートブロック
メカニズム搭載



詳しい製品情報は当社HP特設サイトへ



株式会社 谷沢製作所

〒104-0041 東京都中央区新富2-15-5 RBM築地ビル6F

TEL: 03-3552-5581 FAX: 03-3552-5576 E-mail: eigyo@tanizawa.co.jp www.tanizawa.co.jp

粉じんにも花粉にも

カラーレンズ登場!



レンズ: イエロー



レンズ: スモーク

保護めがね
RC-170 シリーズ



曇りに
強い



レンズ: クリア



株式会社 理研オプテック

TEL: 03-3474-8601

<https://rikenoptech.com>

※
世界最小



GOOD DESIGN
AWARD 2022

※ ロック装置付き巻取器 2021年9月現在 当社調べ

国内最軽量クラス

SANKO INDUSTRIES CO., LTD.
TITAN
「墜落制止用器具の規格」適合



シングル
約700g



ダブル
約1,280g



Special site

フルハーネス型 / 胴ベルト型 兼用
巻取式 タイプ1 ランヤード

REELOCK mini

サンコー株式会社

<https://www.sanko-titan.co.jp>

本社・本社工場 〒532-0035 大阪府大阪市淀川区新高1丁目14番7号 TEL.06-6394-3541

屈曲最強！シン・甲プロ安全靴

PRM212 甲プロ M2

動きに合わせて甲プロが
スライドするから屈曲しやすい！

● JIS 甲プロ試験 ● 合格最高レベルの耐滑性 (F2 合格) ● 優れたクッション性

M ミドリ安全株式会社 <https://midori-fw.jp>
東京都渋谷区広尾5-4-3 TEL 03-3442-8293




YK YAMAMOTO

安全をつくる 快適でささえる

Comfortable safety

1911年の創業以来、100年以上にわたり「YAMAMOTO」に受け継がれてきたのは、働く人々の「安全と健康」を護るという使命。
「安全」は「快適」という次のステージへ。地道で小さな一歩を積み重ねることが、次の100年への近道。
快適創造企業の実現を目指して、YAMAMOTOは歩み続けます。

110th Anniversary
おかげさまで山本光学は
2021年11月で創業 110 年

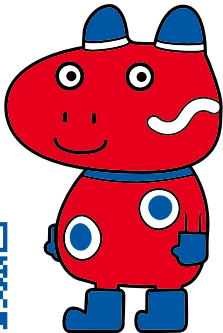
山本光学株式会社
セフティ＆レーザー・オプト事業部
本社 / 06-6783-1101 東京支店 / 03-3868-5503




働く方々の手と足を守る、安全と信頼のシモン

Simon CORPORATION

シモン公式キャラクター
たのしもん®


やっぱりこれだ
溶接で人気の
1005シリーズ

溶接作業に適した3つの特長

- 1 溶接面と好相性のデザイン
- 2 負担の少ない軽量設計
- 3 オゾン臭の除去にKBCフィルタ併用可能

指定防護係数10	指定防護係数14	指定防護係数33
溶接のベーシックモデル 防じんマスク	溶接で多くの実績がある 電動ファン付き呼吸用保護具	溶接向け電動ファン付き 呼吸用保護具の上位モデル
1005RR	BL-1005	BL-7005

クリーン、ヘルス、セーフティで社会に

興研株式会社 〒102-8459 東京都千代田区四番町7
TEL.03-5276-1911 (大代表)